

## 当財団へのご寄附・ご支援について

当財団へは、以下のような方法でご支援いただけます。  
いただいた寄附金は、全額東北の子どもたちの支援のため、大切に活用させていただきます。

寄附  
銀行振込

寄附  
クレジットカード

Yahoo!  
ネット募金

ボランティア、  
物品・  
サービス提供

当財団への寄附金は、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、寄附金控除が受けられます。詳しくはお問い合わせください。  
※Yahoo!ネット募金を利用して寄附した場合、領収書の発行はできません。

### 一般寄附受付口座

本口座へのご寄附は、当財団が行う支援活動全般のために活用されます。

みずほ銀行 大手町営業部  
(普) 3514117

公益財団法人東日本大震災復興支援財団  
(コウシキザイデンキョウシセキニカンダイシヤクワクシヤク)

### まなべる基金 使途指定寄附受付口座

本口座へのご寄附は、「まなべる基金」の奨学生のために活用されます。

みずほ銀行 大手町営業部  
(普) 3514439

公益財団法人東日本大震災復興支援財団  
(コウシキザイデンキョウシセキニカンダイシヤクワクシヤク)

### 福島子ども力基金 使途指定寄附受付口座

本口座へのご寄附は、「福島子どもカプロジェクト」として福島の子どもの様々な体験活動のために活用されます。

みずほ銀行 大手町営業部  
(普) 3516292

公益財団法人東日本大震災復興支援財団  
(コウシキザイデンキョウシセキニカンダイシヤクワクシヤク)

その他の支援方法の詳細は当財団のホームページをご覧ください。 <http://minnade-ganbaro.jp/shien/>



かざして募金

スマホをかざすだけ<sup>※1</sup>

携帯電話料金と一緒に支払い

振り込み手数料不要<sup>※3</sup>

専用アプリ「かざして募金」をスマホ<sup>※1</sup>にインストールし、アプリでこのパンフレットの表紙全体をかざしてください。寄附金額を選択するだけで簡単に寄附ができます。ソフトバンクのスマホをお使いの方は、携帯電話料金とあわせて寄附金をお支払いいただけるため、振込手数料がからず便利です<sup>※2</sup>。かざして募金サービスの詳細やお問い合わせ先は、ソフトバンクモバイル社のホームページをご覧ください。

※1 Android/OS 3.2(2014年3月5日現在)  
※2 かざして募金を利用して寄附した場合、領収書の発行はできません。(2014年3月5日現在)  
※3 ソフトバンクのスマホ以外をお使いの際は、クレジットカード決済となります。

### これまでいただいたご寄附の件数

※収録期間2011年7月～2014年1月

銀行振り込みによるご寄附..... 2,162件  
Just Giving Japan経由のご寄附..... 34,079件  
継続的なご寄附..... 253件

### ご寄附いただいた団体・法人の皆様

(他多数ご寄附)

公益財団法人日本科学技術振興財団  
公益財団法人藤沢市みらい創造財団  
第8回 湘南国際マラソン実行委員会  
第8回 BJファミリーコンサート  
千葉商科大学 千葉ロッテプロジェクト

その他、多くの方からご寄附をいただいています。誠にありがとうございます。

facebook 検索



Facebookページにて  
当財団の活動を日々更新しております。  
「いいね」を押して、ぜひご覧ください。

「東日本大震災復興支援財団」で検索してください  
<http://www.facebook.com/ganbarojp>



# みんなでがんばろう●日本

2013年度 中間報告書 [発行日:2014年3月11日]



みんな  
が  
がんば  
ろう  
日本●

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル14階 TEL:03-6889-1560 FAX:03-6889-1568

Web <http://minnade-ganbaro.jp>

**支援活動1**




学べるしあわせをみんなに  
**まなべる基金**

経済的な理由で進学・就学が困難になった高校生に返還不要の奨学金を給付。

支援総額 14.4億円 支援人数 2,495名

※今後の支給予定分を含む・支援を終了した生徒分も含む

**支援活動2**




支援活動をバックアップ  
**子どもサポート基金**

東北の子どもたちを継続支援する団体の活動を支援するための助成プログラム。

支援総額 3.6億円 支援件数 229団体

※第1期～第4期

**支援活動3**




“こども”の力で未来を支える  
**福島こどもカププロジェクト**

様々な体験活動を通じ、未来の福島を支える子どもの成長を支援。

支援総額 1.1億円 支援人数 46,483名

※2013年6月～2014年3月までの支援予定分・支援予定人数を含む

**支援活動4**




スポーツを通じて夢を応援  
**みやぎ「夢・復興」** ジュニアスポーツ  
パワーアップ事業

夢を持ってチャレンジする子どもたちを応援し、宮城の復興を支える人材を育成。

支援総額 0.9億円 支援人数 102名

※2013年1月～2014年3月

**支援活動5**




話す・つながるをサポート  
**18歳まで携帯料金サポート**

震災でご両親や保護者を亡くした子どもたちに携帯電話料金を月に1万円まで支援。

支援総額 0.05億円 支援人数 38名

**支援活動6** 発達障がいの子どもの学習サポート  
**ふみだす未来の教室 in 南相馬**



発達障がいの子どものためのICT(情報通信技術)を活用した学習サポート。

支援総額 0.1億円 支援人数 4,171名(のべ)

**支援活動7** 対話からはじまる地域の復興  
**芋煮会ワークショップ**

地域の住民が主役となって、対話を行い、そこで明らかになった課題を解決する取り組み。

支援総額 0.3億円 支援人数 560名(のべ)

支援額合計 **25.7億円** 支援人数合計 **約66,000名と**

※2013年12月末までに終了した支援活動の支援総額・支援人数を含む

**229の団体** ※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

**当財団の理念**

復興支援を通じて、  
次の世代が幸せに暮らす  
社会の創生に貢献する。

**目指すビジョン**

子どもたちが  
夢と希望を育む  
環境を実現する。

**ごあいさつ**



公益財団法人  
東日本大震災復興支援財団  
専務理事

荒井 優

2011年3月11日は、東北の多くの学校では卒業式がおこなわれていました。あの日、ランドセルを背負っていた小学6年生の子どもたちが、この春には制服に身を包み高校生として復興の稲音響く町を歩きます。子どもたちの成長は、大人が進めている「復興」よりも、速く確かな歩みであり、復興に関わる一員として多に勇気をもらっています。復興支援を掲げる当財団の活動は、そうした子どもたちがいずれその町の主役を担っていけるよう、様々な機会を提供して参りました。3年目の今年には、本人たちから直に進路の相談や報告などをいただくことが増え、あの日を境に互いに支え合っていることに気がつかされます。あるお坊さまから、震災後一番辛かったのは「多くのランドセルの前でお経をあげた時」と伺いました。沢山の想いを背負って未来を創り上げていく子どもたちのために、私たちが引き続き伴走して参りたいと思います。皆様方の変わらぬご支援と叱咤激励を何卒よろしくお願いいたします。

支援活動1

高校生対象給付型奨学金

## まなべる基金 [第3期]

経済的な理由で進学・就学が困難になった高校生に返還不要の奨学金を給付。



東日本大震災後、被災した学生向けにいくつかの奨学金制度が立ち上がりましたが、多くは遺児・孤児が対象で、被災や経済的な理由で進学・就学が困難になった高校生のための奨学金は、それほど多くありませんでした。そこで当財団は、こうした高校生のために、返還不要の奨学金制度を設立し、卒業まで最長4年間、最大72万円を給付しています。

支援総額 **3.2億円**

支援者数 **488名**

※今後の支援予定分を含む

支援対象期間 ● 2014年4月～2018年3月(最長)

※卒業までの期間

協力団体 ● 特定非営利活動法人ジービーパートナーズ

過去の実績	第1期	第2期
	支援者数:1,192名(2014年1月時点) 支援総額:6.6億円	支援者数:815名(2014年1月時点) 支援総額:4.6億円
	※上記の第1期・第2期共に、支援者数は支援終了した生徒も含む。 支援総額は今後の支給予定分も含む。	

### 今後の予定

被災各県市町村の教育関係者を含む現地の方々にお話を伺いながら、次期の実施を検討中です。

支援活動2

支援団体向け助成

## 子どもサポート基金 [第4期]

東北の子どもたちを継続支援する団体の活動を支えるための助成プログラム。



被災地では、復興の過程で生じるさまざまな課題に対応した支援を行う存在として、NPO やボランティア団体が大きな役割を果たしています。「子どもサポート基金」では、こうした団体の活動を支えるため、2011年7月より、被災した子どもたち・家庭を支援する活動への資金助成を開始し、これまで4期にわたり、のべ229団体に助成を行っています。

4期支援例:岩手県陸前高田市における子どもの居場所づくり、宮城県石巻市の仮設住宅における子どもの遊び場づくり、福島県飯舘村の子どもたちのための文化継承・世代間交流活動等。

支援総額 **7,466万円**

支援者数 **54団体**

※助成決定額

支援対象期間 ● 2013年4月1日～9月30日

協力団体 ● 特定非営利活動法人ジービーパートナーズ

過去の実績	第1期	第2期	第3期
	助成件数:51件 支援総額:9,494万円	助成件数:72件 支援総額:9,674万円	助成件数:52件 支援総額:9,760万円

### 今後の予定

2016年度まで年2回募集の予定です。

※今後の状況により変更する場合があります。

支援活動3

“こども”の力で未来を支える

## 福島子どもカプロジェクト

様々な体験活動を通じ、未来の福島を支える子どもの成長を支援。



福島子どもカプロジェクトは、福島県の子どもたちを対象に、自然体験をはじめ、スポーツ、アート、国際交流、科学などの幅広い分野のプログラムを提供するプロジェクトです。プログラムを通して、好奇心を持って行動し、他者と協力しながら成長する、子どもたちが本来持っている力を伸ばし、福島の将来を担う人材として育成することを目的としています。

支援総額 **1.1億円**

支援者数 **46,483人**

※2013年6月～2014年3月までの支援予定分を含む

支援対象期間 ● 2013年6月～

後援 ● 福島民報社、福島民友新聞社

### 今後の予定

プロジェクト発足時7団体だった参画団体は、2014年度にさらに増える予定です。各団体で実施されるプログラムは自然体験や国際交流、キャリア教育など多岐にわたります。各プログラムの内容は、「福島子どもカ会議」\*での協議を元に実施していきます。

※「福島子どもカ会議」とは、参画団体、参加者(子どもたち)、保護者、教育関係者、ボランティアなどの様々な立場の方と、このプロジェクトが福島の子どもたちのためにどうあるべきかを考える会議です。

種別	団体名	プログラム名	プログラム概要	参加人数
スポーツプログラム	一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション	Kids Park	主に未就学児を対象とした、福島市内の屋内遊戯施設で様々なプログラムを定期的に関催	40,000
自然体験プログラム	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	ふみだす探検隊	小学生向けの1～2泊の宿泊型体験学習プログラム	2,685
	特定非営利活動法人 移動保育プロジェクト	ちびっ子遠足隊	未就学児向け、日帰り自然体験プログラム	691
	ふくしまキッズ実行委員会	ふくしまキッズ	小中学生を対象とした、全国の受け入れ先での体験学習プログラム	643
創作/文化/アートプログラム	ディスカバリー・ジャパン株式会社	コスミックカレッジ いきものカレッジ	小学生対象の自然と宇宙をテーマにした2つの教育プログラム	333 22
	特定非営利活動法人 じぶん未来クラブ	ヤングアメリカンズ	小中学生を対象とした、ヤングアメリカンズによる歌とダンスのワークショップ「アウトリーチプログラム」	1,967
キャリアリーダー育成プログラム	新生日本・再生故郷実行委員会	未来人材育成塾	福島県内を中心とした東北の中学生を対象とした、日本のリーダー達による特別講義プログラム	72
科学プログラム	一般社団法人福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会	サマースクール	小学生を対象とした、南相馬ソーラーアグリパークでの自然エネルギー体験学習プログラム	70

※支援者数・参加人数には予定人数も含む

Message

力を合わせて、福島の子どもたちを育てていきたい

ふくしまキッズ実行委員会 副委員長 吉田 博彦様



ふくしまキッズは、福島県の子どもたちを対象に、自然体験を基本とした体験学習を提供しています。このプログラムは「子どもらしい時間を過ごしてもらおう」という趣旨で、東日本大震災・原発事故直後の2011年夏から、子どもたちの長期休暇を利用して、全国各地で継続的に実施してきました。その活動を支えてくれたのが、東日本大震災復興支援財団でした。「福島子どもカプロジェクト」の発足にあたり、福島県の子どもたちの支援に関わる多くの団体が力を合わせ、ともに福島県の子どもたちを育てていこうという趣旨に賛同し、このプロジェクトに参画しました。体験学習の価値は福島の子どもたちだけに必要なものではありません。このような活動を全国の子どもたちにも広げていくことを目指して、今後も活動を続けてまいります。

支援活動4



スポーツを通じて夢を応援

## みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業

夢を持ってチャレンジする子どもたちを応援し、宮城の復興を支える人材を育成。



この取り組みは、宮城県の小学4～6年生を対象としてトップアスリートを目指す「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」と、宮城県の子どもたち全体の体力向上を目指す「未来を担うみやぎっ子体力向上キャンペーン」を通じ、復興を支える心身ともにたくましい人材を育てることを目的としています。復興の原動力として、長きにわたって活躍できる人材を育成します。

支援総額 **8,800万円** 支援者数 **102名**

※2014年3月まで

※小学4～6年生

支援対象期間 ○ 2013年4月～  
主 催 ○ みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツ  
パワーアップ事業実行委員会  
共 催 ○ 宮城県教育委員会、  
公益財団法人宮城県体育協会  
協 力 団 体 ○ 仙台大学、宮城教育大学

### 今後の予定

各協力団体と協議しながらプログラム運営を進めます。  
新学期には宮城県内在住の小学4年生30名程度を  
第2期アカデミー生として認定する予定です。

### Interview みやぎジュニアトップアスリートアカデミー 参加者の声 小学6年生 山内 七海さん



#### あきらめず、目標を追い続けたい

小学校1年生から陸上の100メートル走を始めました。  
震災後、福島県から宮城県の母の実家に避難しましたが、引っ越し先の近くに陸上クラブがあったので練習を再開することができました。みやぎジュニアトップアスリ-

トアカデミーは母の勧めで応募しましたが、参加してとても楽しいです。  
私はこれまで陸上ひとすじだったけれど、様々な五輪競技にも挑戦できるので、他の競技にも興味が湧きました。なかでも競輪に挑戦したときは、現役の競輪選手に指導してもらい、「脚力が強いから競輪にも興味ない？」と声をかけてもらったことが嬉しく、自信にも繋がりました。これからの目標は、短距離選手としてさらに上を目指すことです。全国大会では、私の上にもっと足の速い人が5人もいるけれど、あきらめません。将来は、短距離選手になることが一番の夢ですが、競輪選手にも興味を持ちましたし、父が海上保安官をしているので、婦人警官も、素晴らしい仕事だと思っています。

### その他の支援活動について

当財団では、東北の復興活動に関わる団体の様々な活動に寄附を行っています。

#### 特定非営利活動法人 絆プロジェクト三陸

大船渡市の塩川グラウンドで野球を練習する子どもたちのための照明設備設置事業への支援

#### 特定非営利活動法人 岩手未来機構

福島の子どもたちを対象に芸術活動交流を目的とした、「ホセ・マリア・シリシア福島ワークショップ」への支援

#### Light Up Nippon in 陸前高田実行委員会

季節行事に参加する子どもたちが、自ら楽しめる場づくりを行うイベント開催への支援

#### 日本学校合奏コンクール委員会

郡山市で開催された「日本学校合奏コンクール2013 ソロ&アンサンブルコンテスト」運営への支援

#### 特定非営利活動法人 チームレスキュー

宮城県七ヶ浜町における子どもたちの運動不足解消を目的としたスポーツ事業への支援

支援活動5



話す・つながるをサポート

## 18歳まで携帯料金サポート

震災でご両親や保護者を亡くした子どもたちに携帯電話料金を月に1万円まで支援。

### Message

NTTドコモグループ  
ご担当者の皆さま



(向かって左側から)ドコモハートプラザ 飯塚様、西川様  
株式会社NTTドコモ 丸山様

私たちNTTドコモグループ社員およびスタッフは、家族の一員になったつもりで、本支援を受けられたお子さまが明るく元気に成長されていくことを応援しています。本支援を通して、復興の一角を担えることを光榮に思います。

支援総額 **461万円**

支援者数 **38名**

※2013年12月31日時点

※支援を終了した人数も含む

支援対象期間 ○ 2011年8月～随時  
協 力 団 体 ○ あしなが育英会

震災でご両親や保護者を亡くした子どもたちにとって、身近な人々と話す・つながるための携帯電話は大切なコミュニケーションツールです。当財団では、こうした子どもたちを含むご家族の経済的負担を軽減するため携帯料金を支援しています。18歳未満の子どもたちを対象に、月々の携帯電話・PHS(電話会社問わず)の料金を月々1万円までサポートします。

支援活動6

## 発達障がいの子どもの学習サポート ふみだす未来の教室 in 南相馬



南相馬市には、避難先での生活が困難で地元に戻ってきた子どもやその家族が多い一方で、発達障がいの子どもを受け入れる環境が未だ整っておらず、安心して生活することが難しい状況が続いています。子どもたちの放課後や土曜日の学習支援、集団生活訓練、こころのケアなどサポートをすることで、生活環境、教育環境全体を改善に繋げることを活動の目的としています。

支援総額 **1,000万円**

支援者数 **4,171名(のべ)**

支援対象期間 ○ 2012年1月～随時  
運 営 団 体 ○ 特定非営利活動法人トイボックス  
協 力 団 体 ○ ハタチ基金、株式会社ポケモン、  
南相馬市教育委員会 など

支援活動7

## 対話からはじまる地域の復興 芋煮会ワークショップ



芋煮会ワークショップとは、福島県を中心とした被災地および避難先にて、幅広い分野の方々や地域の課題について話し合うワークショップです。明らかになった課題の中で、当財団として支援可能なものについてひとつでも多く支援することを目的としています。

支援総額 **2,550万円**

参加者数 **約560名(のべ)**

開催場所 **12箇所**

福島県、岩手県、山形県、新潟県、  
北海道、京都府の各市町村

### これまでに実現された支援

- ・幼稚園園庭への人工芝導入支援(福島県南相馬市)
- ・「未来会議inいわき」への支援(福島県いわき市)
- ・保育園、幼稚園23園への砂場や遊具への支援(福島県伊達市) など